

# 代数学幾何学演習 II (No.005)

利根川 聡

2003年7月4日

27. 以下の問に答えよ。

- (1)  $x_1, x_2, \dots, x_n$  が線形独立ならば、 $1 \leq k \leq n$  を満たす任意の自然数  $k$  に対し  $x_1, x_2, \dots, x_k$  も線形独立であることを示せ。また、この命題の対偶を書け。
- (2)  $x_1, x_2, \dots, x_n$  が線形独立ならば、これらのどのベクトル  $x_k$  もそれを除いた  $(n-1)$  個のベクトルの線形結合では表せないことを示せ。
- (3)  $n$  個のベクトル  $x_1, x_2, \dots, x_n$  に対し、これらのどのベクトル  $x_k$  もそれを除いた  $(n-1)$  個のベクトルの線形結合で表せないなら、 $x_1, x_2, \dots, x_n$  は線形独立であることを示せ。
- (4)  $x_1, x_2, \dots, x_n$  が線形独立で  $x_{n+1}$  が  $x_1, x_2, \dots, x_n$  の線形結合で表せないならば、 $x_1, x_2, \dots, x_{n+1}$  は線形独立であることを示せ。

28.  $x_1, x_2, \dots, x_n \in V$  がベクトル空間  $V$  の基底であることを定義を述べよ。さらに、次の3つの命題が同値であることを示せ。

- (a)  $x_1, x_2, \dots, x_n \in V$  は  $V$  の基底である。
- (b)  $V$  の任意の元は  $x_1, x_2, \dots, x_n \in V$  の線形結合としてただ一通りの形で表される。
- (c)  $x_1, x_2, \dots, x_n \in V$  は線形独立、かつ、任意の  $v \in V$  に対して  $x_1, x_2, \dots, x_n, v$  は線形従属である。

29.  $a_1 = (1, 2, 3, 4), a_2 = (2, -1, 0, 3), a_3 = (-4, 7, 6, -1)$  によって生成される  $\mathbf{R}^4$  の部分空間を  $W$  とする。

- (1)  $a_1, a_2, a_3$  のうちからいくつかを選んで  $W$  の基底を作れ。また  $W$  の次元を言え。
- (2) (1) で得た  $W$  の基底にいくつかのベクトルを追加して  $\mathbf{R}^4$  の基底を作れ。

30.  $P_3(\mathbf{R})$  (高々3次の実係数多項式全体から成る線形空間) の部分集合  $W_0, W_1, W_2, W_3$  を以下で定義する。

$$W_0 = \left\{ f \in P_3(\mathbf{R}) \mid f(0) = 0 \right\}, \quad W_1 = \left\{ f \in P_3(\mathbf{R}) \mid f(-1) = f(0) = f(1) \right\},$$

$$W_2 = \left\{ f \in P_3(\mathbf{R}) \mid f(x) + f(-x) = 0 \right\}, \quad W_3 = \left\{ f \in P_3(\mathbf{R}) \mid \int_{-1}^1 f(x) dx = 0 \right\}$$

- (1)  $W_0, W_1, W_2, W_3$  が  $P_3(\mathbf{R})$  の部分空間であることを示し、さらにそれらの次元と1つの基底を求めよ。
- (2)  $i, j = 0, 1, 2, 3, i \neq j$  に対し  $W_i + W_j$  および  $W_i \cap W_j$  の次元と1つの基底を求めよ。また、 $\dim W_i + \dim W_j = \dim(W_i + W_j) + \dim(W_i \cap W_j)$  が成り立つことを確かめよ。

31. ベクトル空間  $V$  の基底の取り替え  $E \rightarrow F$  の行列を求めよ。

(1)  $V = 3$  次元ベクトル空間,  $E = \langle e_1, e_2, e_3 \rangle, F = \langle f_1, f_2, f_3 \rangle,$

$$\begin{cases} f_1 = 4e_1 + 5e_2, \\ f_2 = 3e_1 + 4e_2 + 2e_3, \\ f_3 = e_1 + e_2 - 3e_3 \end{cases}$$

(2)  $V = \mathbf{R}^2, E = \left\langle \begin{pmatrix} 7 \\ 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle, F = \left\langle \begin{pmatrix} 5 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 6 \\ 5 \end{pmatrix} \right\rangle$

$$(3) V = \{t(x, y, z) \in \mathbf{R}^3 \mid 4x + 7y + z = 0\}, \mathbf{E} = \left\langle \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 13 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 3 \end{pmatrix} \right\rangle, \mathbf{F} = \left\langle \begin{pmatrix} 5 \\ -3 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

$$(4) V = \mathbf{R}^3, \mathbf{E} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle, \mathbf{F} = \left\langle \begin{pmatrix} 3 \\ -2 \\ 6 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -4 \\ 5 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -4 \\ 4 \\ -3 \end{pmatrix} \right\rangle$$